

近畿大学病院 地域連携広報誌

October.2019

KINDAI Vol.11

CARELINK

メンタル
ヘルス科
クロザピン
治療

心臓血管
センター
IMPELLA

中央放射線部
アイソトープ

- 連携医登録について
- 紹介予約手続方法

Feature1

心臓血管センター

Cardiovascular center

IMPELLA【インペラ：補助循環ポンプカテーテル】

はじめに

当院では、2019年9月より心臓血管センター（循環器内科、心臓血管外科）でIMPELLA（補助循環ポンプカテーテル）の使用が開始されます。重篤な急性左心不全の治療に難渋される際には、下記電話番号までご相談ください。

▶▶▶ ハートコール TEL 0120-145-810 [24時間体制]

心原性ショックとは

急性心筋梗塞（*1）や心筋炎（*2）を生じると、心臓の筋肉がダメージを受け、時にポンプの機能が著しく低下します。

この状態を心原性ショックといい、全身の臓器に十分な血液を送ることができなくなり、生命の維持が難しくなることがあります。

これまでは、経皮的心肺補助装置（PCPS）や大動脈バルーンパンピング（IABP）という循環補助装置を用いて救命を行ってきました。

これらの装置では、全身への血液の供給や酸素の供給はできるのですが、「血液を体に戻す際、心臓からの血液の流れに対し蓋をするように戻すため、心臓（特に左心室）の負担になり心臓自体が休まらず、またその前の臓器の肺にも負担をかける」こととなります。このため、外科手術を行い、心臓に体外式の補助人工心臓を装着し救命を行う必要がありました。

*1 心臓の筋肉を栄養する血管が詰まり、心臓の筋肉が壊死する状態

*2 ウイルスや感染、薬剤性などの原因で心臓の筋肉が炎症を起こす状態

IMPELLA (インペラ)

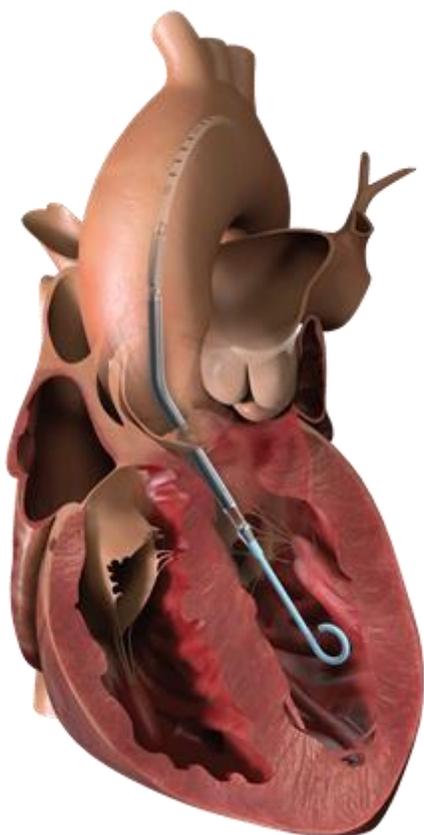
2018年4月より、
このデバイスを用いた治療が
開始されました。

インペラ先端



このカテーテルは、先端に小型のポンプが付いています。

インペラを左心室に挿入した図



これを足の付け根にある動脈より挿入し、心臓の中に留置することで「血液を左心室から汲み上げ大動脈に送り出します。これにより心臓（特に左心室）を休めることができ、さらに全身にも十分な血液を送る」ことができます。この補助循環を行うことで以前の治療法に比べ、より少ない侵襲で心原性ショックを治療することができ、また救命率を上昇させることが期待されています。

クロザピン相談外来

治療抵抗性統合失調症へのクロザピン治療

当院では2017年12月から、クロザピンによる治療抵抗性統合失調症の薬物療法をおこなっています。

治療抵抗性の統合失調症

本邦の統合失調症患者数は約80万人とされています。そのうち、2種類以上の抗精神病薬を十分な用量と期間で治療しても、あるいは副作用のために服薬継続が難しく、症状の改善がとぼしい患者さんは約15-25万人いると考えられ、治療抵抗性統合失調症とされます。

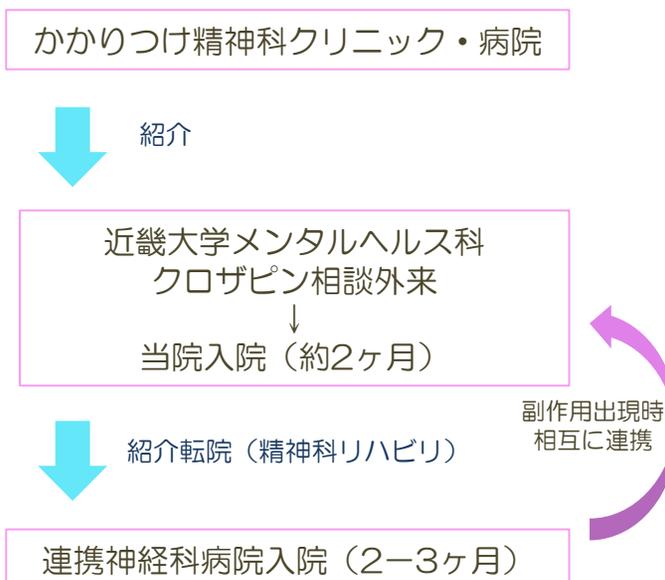


クロザピンとは

クロザピンは、治療抵抗性統合失調症に対して、効果があることが認められている唯一の薬です。海外では米国、英国をはじめ60カ国以上で承認され効果を上げている薬剤で、治療抵抗性統合失調症患者の約30-50%に改善を認めるとされています。クロザピンの有効性は高いのですが、白血球の減少・糖尿病・心筋炎など重篤な副作用が出現する可能性があるために、定期的な血液検査が義務づけられています。

クロザピンの導入（入院が原則）について

クロザピン治療を開始するには、初回投与開始から基本的に18週間の入院が必要となります。導入から約2ヶ月間は当科入院し、副作用の出現に注意をしながら慎重に治療をしていきます。また、副作用出現時は、当院内科と連携して対応していきます。



クロザピン導入後の治療

統合失調症の治療には薬物療法とともに、デイケアや作業療法といった精神科リハビリテーションが必要になります。そのため、クロザピンの内服用量が決まり安全に服用できることが確認出来たのち、精神科リハビリテーションの施設をもつ、連携精神科病院へ転院し、その後の社会復帰に向けた取り組みへとすすみます。

* クロザピンによる治療が可能な医療機関

クロザピンは、クロザピンの十分な知識を習得し、審査を通過した医師（CPMS登録医）だけが処方できます。また、登録された医療機関だけがクロザピンによる治療を行うことができます。

ご紹介の
お願い

クロザピン治療の適応となる患者さんがいらっしゃいましたら、地域連携課までお問い合わせ下さい。

アイソトープ検査

NEW

当院のホームページよりアイソトープ検査予約を簡単に取れるようになりました



従来、アイソトープ検査は当院の診療科を受診したのち、予約を取っていただいていたおりました。このたび、地域連携病院の先生から直接、予約をお取りいただけるようになりました。

予約方法

近畿大学病院ホームページ

(<https://www.med.kindai.ac.jp/>)

「医療関係者の方へ」のボタンから進んでください。

「アイソトープ検査予約」に進むと予約手順が詳細に記載されています。

必要書類をご準備いただき、アイソトープ検査室へお電話してください。

TEL 072-366-0221 (内線：2125)

▼ 検査予約いただけるのは、下記10項目

	検査	主な対象疾患
1	全身骨シンチグラフィ	骨疾患の検索
2	全身Gaシンチグラフィ	悪性腫瘍の検索 サルコイドーシス等の炎症疾患
3	脳(IMP)血流シンチグラフィ	局所脳血流評価
4	脳Datシンチグラフィ (ドーパミントランスポーターシンチグラフィ)	パーキンソン症候群、レビー小体病
5	心筋MIBGシンチグラフィ	心筋交感神経疾患、H/M比による交感神経機能評価 レセルピン、三環系うつ剤、塩酸ラベタロールはMIBGの集積を阻害するので1週間休薬願います
6	甲状腺Tcシンチグラフィ	甲状腺機能疾患、Tcによる撮取率
7	副甲状腺MIBIシンチグラフィ	副甲状腺機能亢進症における局在診断
8	腎動態DTPA(GFR)シンチグラフィ	腎、尿路疾患(糸球体ろ過量GFR)
9	腎動態MAG3(ERPF)シンチグラフィ	腎、尿路疾患(有効血漿流量ERPF) ヘマトクリット値が必要で採血結果もお知らせください
10	全身 ¹²³ I-MIBGシンチグラフィ	褐色細胞腫、神経芽細胞腫の全身検索 レセルピン、三環系うつ剤、塩酸ラベタロールはMIBGの集積を阻害するので1週間休薬願います

後日、検査結果と画像(CD-R)を紹介機関担当医へ郵送させていただきます。

連携登録について

地域の医療機関との機能分担を図り、信頼関係のある質の高い病診・病院連携を推進することを目的とした連携医登録の主旨にご賛同いただける場合は、連携医登録させていただきます。

ICT を利用した地域医療連携ネットワークシステムについて

概要

地域の医療機関をつなぐ連携ネットワークを構築することにより、診療情報（カルテ情報、画像、レポート等）の共有が可能になります。情報提供施設（近畿大学病院）は、「SS-MIX2 標準ストレージ」にデータを出かし、地域連携サーバを経由して連携先の医療機関に診療情報を公開（24時間情報閲覧可）

セキュリティについて

情報参照施設や情報提供施設とデータセンター間は IPSec-VPN を利用して高度なセキュリティが確保された通信網を使用。

情報参照施設側に必要なもの

インターネットに接続できるパソコンが1台あれば、地域医療システムをご利用いただけます。

【パソコンの環境条件】については、お問い合わせください。



情報参照していただけるもの

- 患者基本情報
- 病名
- 処方歴
- 検歴
- 各種オーダ情報
- 医師の記載
- 看護記録
- サマリー
- 経過表
- 画像情報
- 各種レポート

その他

- ・当院へ通院歴のある患者から同意をとっていただき、同意書を近畿大学病院地域連携課まで FAXしていただくと、すぐにその患者の情報を公開します。
- ・施設基準に適合しているとして近畿厚生局へ届出されますと、「電子的診療情報評価料」として30点算定していただけます。（診療情報提供料（I）を算定する他の保険医療機関からの1回の診療情報提供に対し1回のみ）
- ・2018年8月よりこのシステムを利用し、常時診察予約を取得いただける機能を追加いたしました。

ご希望される医療機関は、地域連携課までお申し出ください。

編集後記

KINDAI CARELINKもデザインを一新し、3号目となりました。今回は、社会福祉の立場から患者さんへの支援を行っているソーシャルワーカーです。多職種が一丸となって、日々奮闘しております。今後もよろしくお願いいたします。

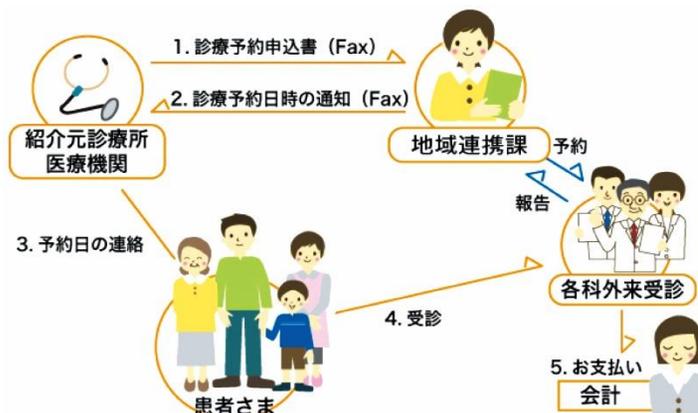


左から順に、ソーシャルワーカー仲川、濱谷（主任）、新城、荒木、中出

紹介予約手続き方法

紹介予約手続きは紹介元の医療機関を通じて行って頂きますようお願いいたします。

1. 診察予約申込書に必要事項をご記入のうえ、地域連携課までFAXをお願いいたします。
2. 患者様のご希望の日時で予約をとり、「診察予約日時の通知」をFAXにて返信させていただきます。
(平日20時まで対応いたします)
3. 患者さまに予約日時等をご説明いただき、診察予約日時のご通知・紹介状をお渡しください。



地域連携課

直通TEL:072-366-0257 FAX:072-365-7161

緊急患者紹介方法について

地域連携課	直ちに専門医療が必要な症例、 病院事務から専門医に電話回送	072-366-0257
救命救急センター (24時間体制)	重度外傷・重症疾患、中毒・熱傷、 その他の高度な救急医療	072-366-0250
脳卒中コール	脳卒中（発症24時間以内の麻痺、言語や意識障害、 急性頭痛を呈する軽症から重症の患者）、 くも膜下出血、脳腫瘍又はその疑い	072-366-0920
ハートコール	狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、 大動脈解離又はその疑いなどの重症循環器疾患	0120-145-810
周産期コール	産科救急（母体救急、胎児救急）、婦人科救急	072-366-0133

緊急時要請出動ドクターカーシステム

循環器疾患患者さまで緊急治療を要する場合、医療機関からの要請（相談）に応じ、医師がドクターカーに同乗し、患者さまをお迎えにあがります。

ハートコール心臓血管センター

0120-145-810

心臓血管外科

072-366-0221 (内線3138)



近畿大学病院
KINDAI UNIVERSITY HOSPITAL

KINDAI CARELINK vol.11 2019年10月
問い合わせ先：地域連携課
072-366-0257 (直通)